

令和8年度 大田区立矢口中学校 学校経営計画

校長 堀 孝浩

1 矢口中学校の教育目標

人間尊重の精神を教育の基調におき、人間性豊かで、民主的な社会を担うことのできる人を育成するために、次の目標を定める。

気づき、考え、行動できる生徒を育てる。

○ 学ぶ人 ○ 思いやる人 ○ 鍛える人 ○ はばたく人

2 目指す学校像

「笑顔があふれ、毎日通いたいと思える学校」

- 信頼される学校
- 通いたい、通わせたい、勤務したい学校
- 生徒、保護者、地域が誇りとする学校

3 目指す生徒像

- 学 ぶ 人……………目的意識をもち、知識習得や技能習得に取り組める生徒
- 思いやる人……………自他を大切にし、互いに尊重し、高め合おうとする生徒
- 鍛 え る 人……………命を大切にし、心身共に健康であろうとする生徒
- はばたく人……………正しい判断ができ、夢をもって、主体的に行動できる生徒

矢口中学校では、生徒に寄り添った指導を大切にします

- 基礎的な社会性を身に付けさせる中で、生徒自身の良いところを伸ばす指導を行う。
- 生徒自身が課題を克服していけるように、適切な助言や励ましの声をかける。
- 生徒の自主的な活動の場を創出し、達成感や自己肯定感をもてるようにする。
- 個に応じた指導の実現に向け、生徒理解を深め、特別支援教育の視点を大切にしながら授業改善に取り組む。

4 学校経営方針

(1) 確かな学力の定着

- ①主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎・基本の定着と学ぶ意欲を醸成する。
- ②特別支援教育においてユニバーサルデザインを推進し、視覚化、焦点化、共有化を通して個に応じた指導を推進する。
- ③ICT機器を活用した授業展開を行い、一人一台タブレットを活用して分かる授業を実践する。

- ④補習教室（放課後、長期休業中）を実施し、学習支援を行う。
- ⑤朝読書を実施し、言語の活用力や表現力を育むとともに、学ぶ環境を整える。
- ⑥家庭学習の習慣化により、主体的に学ぶ姿勢を身に付させる。
- ⑦学力調査の分析と共有を行い、授業改善を推進する。

（２）豊かな心の醸成

- ①特別の教科 道徳の授業を柱とした道徳教育の充実を図る。
- ②矢中祭（運動部門、発表部門、展示部門）、宿泊行事（移動教室、修学旅行）、校外学習（社会科見学）を通して、協力と団結の大切さを実感させる。
- ③委員会活動、係活動を通して、自主性や積極性を育成する。
- ④ボランティア活動や福祉体験を通して思いやりの心を育むとともに、地域や様々な人とのつながりを大切にする心を育てる。
- ⑤特別委員会を中心とした「特別支援教育」の推進、「いじめ、不登校」対策の充実と未然防止に取り組む。
- ⑥教育相談やスクールカウンセラー等との連携を充実させる。

（３）健康な体の育成

- ①保健体育の授業や体力テスト等により、体力、運動能力の向上と健康教育を推進する。
- ②運動部活動や地域クラブ活動等を通して体力向上を図る。
- ③「早寝、早起き、朝ご飯」を推進する。
- ④食育を家庭科の授業や、学級担任、養護教諭、栄養士と共に推進する。

（４）キャリア教育の推進

- ①３年間を見通した進路指導計画の確立と実践を行う。
- ②職業調べ、職場体験を通して生き方について考えさせる。
- ③事業所の方の講話や上級学校の先生による体験授業を実施し、自己実現に向けて意識を高めさせる。

（５）地域・家庭との連携

- ①学年だよりを毎週発行し、保護者等の返信欄により意見を収集し、便りへ掲載することで学校と保護者の意識の共有を図る。
- ②PTA活動、地域行事に対する教職員、生徒の関わりを深める。
- ③コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を中心にスクールサポート矢中と共に教育活動を推進する。
- ④学校生活アンケートを実施し、教育活動の推進に活用する。

矢口中学校 ３年間のスローガン

１年生「見る学年」、２年生「見られる学年」、３年生「見せる学年」とし、各学年での目的意識をもたせ、「魅せる学年」となって卒業する。